



こども家庭センターのスタッフが子育てについての情報を発信していきます！

今月のトピック

なぜ体罰などをしてはいけないのか



体罰・暴言はこどもの脳を傷つけます

近年の脳画像研究により、こども時代につらい体験をした人は、脳にさまざまな変化が生じていることが報告されています。

幼児期の体罰によって、こどもから親への信頼や愛情が損なわれたり、うつ・著しい不安・多動など精神的な問題を持ったりすることがあります。周りの人を傷つける行動が増えたり、感情的にキレやすく攻撃性が強くなったりすることもあります。その影響は幼児期だけにとどまらず、成人になってからも続く可能性があります。

虐待で傷つく脳

厳しい体罰で前頭前野が萎縮（感情・思考に影響）



暴言で聴覚野が変形（言語・コミュニケーションに影響）

参考：厚生労働省「子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～」

子育てに悩みはつきもの

こどもが泣き止まなかったり、かんしゃくがひどいとイライラしたり、つい怒鳴ってみたい・・・子育てを頑張るのはとても大変なことです。落ち着いているときに、子育て支援センターなど、こどもを連れて出かけられる場所に出かけてみるのも1つの方法です。

子育ての不安などを話すことで気分転換になり、気になることなどを気軽に相談できる関係ができるかもしれません。気持ちをため込まないで、いつでもご相談ください。

○ 氷川町こども家庭センター ☎0965-62-3456

（月～金曜 8時30分～17時15分）

○ 子育て支援センター

（月～金曜 9時～16時）



短歌

火乃介といふ名の猫と暮しをり
歳々年々空同じからず

北野津 井田 道寛
柿の葉の少し色ずきデリーの窓
師は若くして声は大きい

西野津 古崎 スエノ
さわさわと水音たてて菜を洗ふ
青葉左右に泳がせる

西野津 古崎 栄子
新年を賀し卒寿に感謝する
令和七年の新春かな

西上宮 廣瀬 小亀
御馳走に負けぬ笑顔のバースデー
九十三才「はいポーズ」!!

俳句

北野津 井田 道寛
たまごかけごはんのやうな日向かな
ブロッコリー続く畑に秋入り日

西野津 古崎 スエノ
ふと気づき山茶花の落花朝時雨
苗物買いをスマホのラインで孫に相談

西上宮 廣瀬 小亀
届きたるグーヤにレシビ結びあり
朝が来る古墳の丘を越えてくる

西上宮 廣松 真実子
朝が来る古墳の丘を越えてくる
西上宮 山下 環

6年生が授業で俳句を作りました

秋行く日いいにしの墓古墳かな
竜北西部小 押方 煌雅（中網道）

八火図書館だより

☎0965-62-3489

一般書

青姫 / 朝井 まかて
愛しさに気づかぬうちに / 川口 俊和
婚活マエストロ / 宮島 未奈
あの世に持っていけるのは「思い出」だけ / 平田 進也

児童書

千両みかん / もとした いづみ
ランちゃんとうふしぎなかがみ / 長澤 星
しろいねこリリー / くさの たき
いのちをまもる図鑑 / 滝乃 みわこ

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。今年も皆様の読書生活がより豊かになるようお手伝いしていきたいと思います。たくさんのご利用をお待ちしています。



おすすめ図書

『鳶屋』 谷津 矢車

地本問屋にこの人ありと謳われた丸屋小兵衛だったが、家運が傾き年も取り、ついに店を畳むことに。そんな小兵衛を1人の若い男が訪ねてきた。その男こそ、吉原の地本問屋鳶屋重三郎だった。江戸の出版プロデューサーの波瀾万丈の人生を描く、傑作歴史小説。

1月生まれの作家

湊 かなえ（昭和48年1月19日～）

広島県出身の小説家。第6回本屋大賞を受賞した『告白』など数々のヒット作があります。ミステリー小説では「イヤミスの女王」という呼び名で知られていますが、登山が趣味で『山女日記』のような自然を舞台にした作品もあります。

1月からの特設コーナー

若い人に贈る読書のすすめ

成人式・卒業式など新しい一歩を踏み出す若い人たちに読んでもらいたいおすすめの本を紹介しています。

